

文化の香りがあふる 「ふるさと手稲」づくり の推進

「おごん」の活用促進

にぎわいの『シンボルゾーン』であるJR手稲駅自由通路「あいくる」を区民の芸術文化活動発表の拠点として積極的に活用し、にぎわい空間の創出に取り組みます。

まちづくり事業の推進

活力と魅力ある地域づくりを進めるため、「自ら考え実践するまちづくりの推進」を基本方針に、自然や歴史・文化などの地域個性を生かした協働型まちづくり事業を実施します。



▲ていねの森コンサート'03



▲2004手稲山雪の祭典

「まちづくり交流 ネットワーク」づくり の推進

地域活動のネットワーク化

区内では、町内会、商店街企業、学校、PTA、ボランティア団体、NPOなど、地域のまちづくりを担う団体が活発に活動しています。これらの活動が相互に結びつき、地域の課題や目標などを共有しながら、まちづくりの楽しさや連帯感を育むための『交流ネットワーク』づくりを進めます。



▲小学生の夢・
10年後の手稲のまち

まちづくり活動の拠点整備

今年の4月1日から、連絡所の名称が変わり「まちづくりセンター」となりました。地域に身近な存在として、これまで担ってきた行政と各種の住民組織との結節点の役割を維持しながら、区民の皆さんが地域の課題を考え、気楽に集い、相談しあえる場となるよう、まちづくりの拠点としての機能を強化します。



▲星置まちづくりセンター内に
設置された「情報コーナー」

区民に開かれた 「区役所改革」の推進

市民サービス向上への取り組み

窓口接遇の改善やサービス向上を検討するため、「市役

所改革市民会議」から出された中間提言を受けて、4月8日に市長が「市民サービスアップ行動計画」の「キックオフ宣言」を行いました。

手稲区では「サービスアップ行動計画取組方針（第1ステージ）」を定め、市民の立場に立った窓口接遇とサービス向上の新たな取り組みを進めています。

さらに、区役所に「サービスアップ検討委員会」を設置し、「手稲区サービスアップ・行動計画」を策定します。この計画は9月までに策定し、ただちに実行します。

事務事業の見直し強化

区役所で進めてきた行政経営改革の取り組みを重点課題として位置づけ、継承発展させます。このため、従来の行政経営改革の取り組みに変わる新しい事務事業評価と進捗管理のシステムを策定し、今年の7月から実施します。

また、事務事業の見直しと効率化、インターネットなどのIT技術を活用した情報提供サービスの充実などを引き続き強化し、区民に開かれた区役所改革を進めます。

一人ひとりが「まちづくりの主役」です

手稲区では、「みんなの“手”で“稲”を植え、実らせる」という先人たちの心を未来に継承し、誰もが「ていねっていいね」と愛着や誇りを共有できる“ふるさと手稲”づくりを目指します。

「住んでいてよかった」と思える“ふるさと手稲”を創っていくためには、区民一人ひとりが「まちづくりの主役」となり、みんなでアイデアを出し合い、喜びと苦労を分かち合いながら共にまちづくりを進めていくことが一層重要になります。

この「ていねっていいねプラン」に基づき、手稲区職員は区民に信頼される良きパートナーとなるよう鋭意努力し、皆様と共に手を携えて「にぎわいのあるまち“ふるさと手稲”」の実現に向けて、一步一步着実に歩いていきたいと考えております。



手稲区長
まちだ ぶんお
町田 文夫